

■日時 平成24年8月22日(水) ■天候 晴れ

宮城県貞山高校 対 静岡県立静岡中央高校

■球場 明治神宮野球場 第2試合 準々決勝 ■試合時間 1時間45分 ■備考

■審判 球審:橋本 塁審:茂木 高畑 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
貞山	南東北・宮城	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	3
静岡中央	山静・静岡	4	0	2	1	0	0	0	0	X	7	7	0

貞山		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	二	星 昇太	4	0	0	0	三振		三振		三ゴ				三ゴ				
2	捕	平田 智暁	4	0	1	0	左安		中飛			中飛			三振				
3	遊	齋藤 裕弥	4	1	1	0	二ゴ			遊安		三ゴ			三飛				
4	中	佐々木 裕也	4	0	1	0	一邪			三ゴ		三ゴ			遊安				
5	一	野邊 繁輝	4	0	0	1		一飛		一ゴ			遊ゴ		投ゴ				
6	投	三	一井 春己	2	0	0	0		四球		二飛			右直					
7	左	伊藤 健太	3	0	1	0		三振			三安		一邪						
8	右	佐藤 智将	3	0	1	0			三安		遊飛			右飛					
9	三	平山 美心	1	0	0	0			二飛										
9	投	和田 天風	1	0	0	0				三犠				中直					
合計			30	1	5	1	残塁:4 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
一井 春己
和田 天風

捕手
平田 智暁

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
一井 春己	3 2/3	20	6	4	0	3
和田 天風	4 1/3	14	1	7	1	0

静岡中央		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失	
1	遊	望月 優真	4	2	2	0	中2	中3		三失		投飛							
2	二	多々良 光沙希	2	0	0	2	投犠	遊直		投犠			三振						
3	一	繁田 紘輝	4	1	1	0	中安	三振		二ゴ			三振						
4	捕	杉浦 大地	4	2	2	0	左2		中2		二ゴ		投ゴ						
5	右	川島 敏樹	4	2	1	3	一失		中本		三振			三振					
6	三	井上 亮	3	0	0	1	二ゴ		投ゴ		死球			三振					
7	左	日高 健太	4	0	1	1	三失		左直		右安			三振					
8	中	金澤 勇士	3	0	0	0	三振		三振			捕ゴ							
9	投	近藤 一輝	3	0	0	0		三振		三ゴ		三振							
合計			31	7	7	7	残塁:3 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
近藤 一輝

捕手
杉浦 大地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 一輝	9	32	5	4	1	1

■戦評

大会3日目、神宮球場での準々決勝第2試合は2回戦をコールド勝ちした貞山高校と前日の午前中に延べ2日に渡る熱戦を制した方から勢いそのままに小松北に打ち勝った静岡中央高校との勢いに乗るチーム同士の戦となった。1回裏、静岡中央は1番望月が中堅越二塁打で出塁すると続く2番多々良が初球をきっちり送る。ここで二塁走者の望月が好走塁を見せ一気に本塁を陥れ早くも1点を先制する。続く3番、4番の連打に相手の二つの失策が絡んでこの回合計4点を上げ試合の主導権を握った。さらに3回には5番川島が2点ランニング本塁打を打ち6-0と点差を広げる。反撃に転じたい貞山は4回表、この回先頭の齋藤が内野安打で出塁するとこちらも次打者の内野ゴロの間に一気に三塁を陥れる好走塁で好機を広げる。続く内野ゴロの間に生還し1点を返し6-1とする。しかし静岡中央はその裏1番望月が敵失で一挙に二塁まで進塁するとすぐさま三盗を決める。さらにはここで2番多々良がスクイズを決め再び点差を6点とした。静岡中央の先発近藤は5回以降1奪三振ながらテンポの良い打たせて取る投球で貞山の反撃を封じ7-1で勝利した。静岡中央はこれで2年連続のベスト4進出となった。一方、敗れた貞山も4回途中から救援した2番手和田が静岡中央打線を被安打1、7奪三振と抑えただけに序盤の失点が大いに悔やまれる結果となった。